

目次

流山市総合計画[基本構想・基本計画]

豊かな自然や歴史・文化を活かし、
市民が真の豊かさを実感できるまち

みんなでつくろう価値ある流山 2

パイロットプラン21 6

1 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山 8

2 生活の豊かさを実感できる流山 10

3 学び、受け継がれ、進展する流山 12

4 誰もが充実した生涯をおくることができる流山 14

5 賑わいと活気に満ちた流山 16

施策の
推進方策公・民パートナーシップによる
構想実現と効率的、効果的行財政運営 18

地域別計画 20

総合計画の策定経過 22

用語の解説 24

Nagareyama—Building a Worthy City Together

Our hometown Nagareyama, located in proximity to the Tokyo Metropolitan Area, is a green-filled city of culture blessed with a temperate climate and sustained by cultural-historical traditions.

Thanks to our predecessors who have worked hard to build this city since olden times, Nagareyama has developed steadily into a core city in northeastern Chiba Prefecture and today boasts a population of over 150,000.

Japan society is undergoing dramatic changes at present owing to a rapidly aging population with fewer children, the heightening of global environmental issues, the spread of information systems, progress in internationalization and other factors.

To meet the challenges posed by such changes, we have formulated the Nagareyama Comprehensive Plan, which replaces the 1984 Long-Term Scheme to serve as our basic guideline for city development in the years to come.

The Plan sets forth the direction in which development activities are to be implemented up to the target year of fiscal 2019. It is designed to consolidate our achievements made in the past and ensure further progress in the future while remaining true to the spirit of previous plans.

The guiding principle of development activity over the next 20 years is to “build a worthy city” by enhancing our People Assets, Natural Assets and Cultural Assets. Let us all work together to realize our future vision: “Nagareyama—Building a worthy city together, a city that makes the most of its rich natural environment and cultural-historical heritage to allow all its citizens to live in true comfort.”

The Plan was formulated on the basis of citizen participation in diverse forms, most notably the discussion workshops held periodically over a two-year period with the participation and cooperation of many people.

I hope to receive your continued cooperation in the future to enable the Plan to be carried out effectively on the basis of a solid partnership among citizens, assembly members and administrative officials.

Toshimitsu Mayuyama
Mayor of Nagareyama

豊かな自然や歴史・文化を活かし、 市民が真の豊かさを実感できるまち 「みんなでつくろう価値ある流山」 2000 2020

新しい基本構想が 策定されました。

21世紀の流山市のまちづくりの指針となる基本構想が、新世紀の幕開けにあわせてスタートしました。策定にあたっては、多くの市民の皆さんに参加と協力をいただきました。

計画の実現にあたっては、開かれた市政のもと、行政と市民がともに手を取りあって、真の豊かさを実感できるまちを創造します。

パイロットプラン21

- コミュニティづくりプラン
- 市民とつくる地域力の向上・学び育てる地域づくりプラン
- 水と緑と大地の21世紀環境づくりプラン
- 繁栄と魅力ある都市づくりプラン
- 市民と行政による自立・共生社会づくりプラン

6ページ

基本構想とは、本市の市政運営の総合的な指針を示したものです。
また、市民をはじめ各種団体等に対して、市政の運営方針を明らかにすることにより、広く市民の諸活動の指針となるものであり、まちづくりへの積極的な参加と行動を期待するものです。
本構想の内容としては、21世紀に向けての展望と課題を踏まえ、市政運営の「基本理念」と「将来都市像」を明らかにし、これを実現するための「施策の大綱」を定めました。



まちづくりの基本理念

価値あるまちづくり
「人間の価値」…住んでいる人を知り、
「自然の価値」…住む人の環境に配慮し、
人と自然の共存を図り、
「文化の価値」…郷土の歴史を知り、文化の創造を目指す、
開かれた市政のもとに、市民と行政がともに手を取りあって真の豊かさの実感できるまちを創造していきます。

将来都市像

本市の将来都市像を、『豊かな自然や歴史・文化を活かし、市民が真の豊かさを実感できるまち「みんなでつくろう価値ある流山」と定めます。
望ましい都市像を実現するための地域区分を設定し、都市構造図を定めま

す（5ページ参照）。

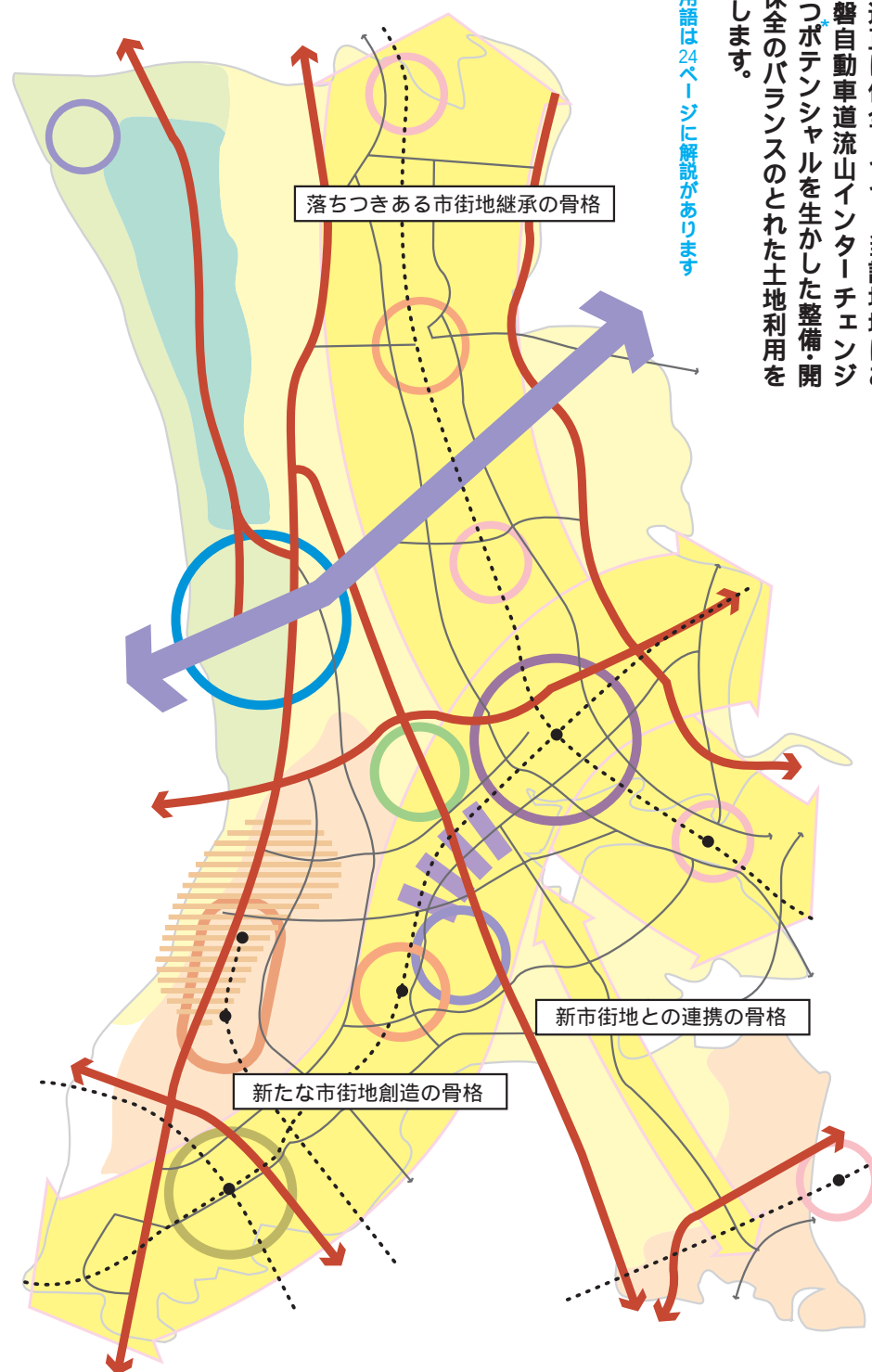


Nagareyama—Building a Worthy City Together
A city that makes the most of its rich natural environment and cultural-historical heritage to allow all its citizens to live in true comfort

Building a worthy city together

We are pleased to announce the start of a new Master Scheme that will serve as a framework for the development of Nagareyama in the 21st century. Many citizens have participated and cooperated in the formulation of this Master Scheme. The guiding principle of development activity under the Master Scheme is to “build a worthy city” by knowing our people (people assets), improving living conditions while protecting the environment (natural assets) and creating a unique culture based on a knowledge of local history (cultural assets). We will all work hand in hand to build a city that allows all residents to live in true comfort. Our future vision of Nagareyama as indicated by the Master Scheme is “a city that makes the most of its rich natural environment and cultural-historical heritage to allow all its citizens to live in true comfort.” To facilitate the realization of this vision, the city has been divided into several districts and functional layout plans prepared for each district.

都市構造図



*の用語は24ページに解説があります

域核を形成します。それぞれの地域は特性に応じた土地利用や景観形成・環境保全を図りながら、相互の機能分担と人と人との有機的な連携を図り、地域間ネットワークを強化し、市域全体としてバランスのとれた都市空間を形成します。

本市の都市構造の再編ともいうべき役割を担う常磐新線の建設促進と沿線整備を推進し、市の新たな中心核を育成して商業業務・文化機能を充実します。

さらに、新川耕地の恵まれた自然環境を適正に保全しつつ、当該地域にある常磐自動車道流山インターチェンジの持つポテンシャルを生かした整備開発・保全のバランスのとれた土地利用を推進します。

核と軸の構成

- 中心核
- 産業核
- 副次核
- 緑の核
- レクリエーション核
- 都市軸
- 地域核
- 地区生活中心

交通環境の構成

- 常磐自動車道
- 骨格的な幹線道路
- 幹線道路
- 鉄道・駅

骨格的な土地利用の構成

- 骨格的な市街地
- 市街地
- 田園集落地
- 保全・活用地域

ゾーンの設定

- 歴史・文化ゾーン
- 土地の保全・活用ゾーン

地域の区分と都市構造図

本構想では、市内を4つの区域に区分する（20ページ参照）とともに都市構造図を定めました。

各地域には、地域活動拠点となる地

20年間の長期的な構想です。

基本構想は、本市の市政運営の総合的な指針となるもので、平成32年までの20年間の期間とします。

基本計画は、基本構想で示した将来像を実現するために、まちづくりの基本方針を踏まえ、施策の大綱に基づき、その方向を示したものです。計画期間は、平成22年までの前期10年間と、平成32年までの後期10年間とします。

なお、基本構想・基本計画は社会経済情勢等の変化に合わせ、必要に応じて見直します。

基本構想

平成12年4月～平成32年3月

20年間

基本構想は、本市の市政運営の総合的な指針となるものです。市政の運営方針を明らかにし、まちづくりへの積極的な参加と行動を促進するものです。

国・県に対し、まちづくりの方向を示すことにより、より一層の支援、協力を期待するものです。

基本計画

前期10年間
平成12年4月～平成22年3月

後期10年間
平成22年4月～平成32年3月

上期5年 下期5年 上期5年 下期5年

基本計画は、基本構想に定める施策の大綱に基づき、その実現を図るための施策の展開を体系別に整理し、その方向を示したものです。

実施計画

3か年ローリングシステム

実施計画は、基本計画に定められた基本的な施策を行財政運営の中で具体的に実施する事務事業を体系別に整理したものです。また、計画期間は財政的裏付けを必要とするため、毎年、向こう3か年ローリングシステムを採用します。

Master Scheme, Basic Plan and Functional Layout Plans

The Master Scheme will serve as an overall guideline for the administration of Nagareyama over the next two decades up to 2020. To realize our vision of Nagareyama in the future as indicated by the Master Scheme, we have also formulated a Basic Plan. The Plan outlines the direction in which development activities are to be implemented in line with our overall development policy and objectives. The Plan is divided into Phase I covering the coming decade and Phase II covering the period from 2011 to 2020. The Master Scheme and Basic Plan may be adjusted from time to time depending on changes in socioeconomic conditions and other factors.

We have also formulated development and functional layout plans (see above) for the four districts—northern, central, eastern and southern—into which the city has been divided.



パイロットプラン 21

パイロットプラン の目的と構成

「パイロットプラン21」は、基本計画の施策の展開にあたり、市民の立場に立った視点で捉えた横断的な課題を、それぞれの行政分野において、関連する各種施策を有機的に連携させ、総合的な行政効果を挙げるために整理したものです。

パイロットとは水先案内人のこと。真の豊かさを実感できる価値あるまちづくりへと導く21世紀への案内役として名付けました。

＊の用語は24ページに解説があります

パイロットプラン21

コミュニティづくりプラン

市民とつくる地域力の向上・学び育てる地域づくりプラン

水と緑と大地の21世紀環境づくりプラン

繁栄と魅力ある都市づくりプラン

市民と行政による自立・共生社会づくりプラン

横断的課題

各種施策

1 コミュニティづくりプラン

市民その他の活力を活用し、世代や性別を越えた交流、あるいは地域や社会の特性を尊重し、協調性ある地域間のネットワークによるまちづくりを推進します。



主要テーマ 市民間の交流、世代や性別を越えての交流、地域間の交流、団体間の交流、行政と市民等との交流など各種コミュニティの有機的な連携を図り、市民の技術・能力を活用し、また民間活力の活用など、活気ある「流山」を創造することが必要です。

2 市民とつくる地域力の向上・ 学び育てる地域づくりプラン

危険を未然に防ぎ、生活のゆとりを実感し、快適で安心して住み続けられる、また歴史と文化に根ざした生涯学習を進め、持続性あるまちづくりを推進します。



主要テーマ 市民の安全が確保され、福祉が充実し、安心して住むことができ、生涯にわたって学習することができ、しかも、それが生かせる地域を充実させ、将来にわたって住み続けたい「流山」を創造することが必要です。

5 市民と行政による自立・ 共生社会づくりプラン

行政基盤の強化を図るとともに、地方分権の流れを確実に受けとめ、情報公開と積極的な市民参加により、意思決定の透明性を確保し、自主性や自己責任による個性豊かで、自立したまちづくりを推進します。



主要テーマ 情報の提供、交流、公開を進め、自主性と自己責任による市民参加を促進し、地方分権の受け皿を確立するとともに、行政のスリム化に努め、公・民パートナーシップによる自立した「流山」を創造することが必要です。

3 水と緑と大地の 21世紀環境づくりプラン

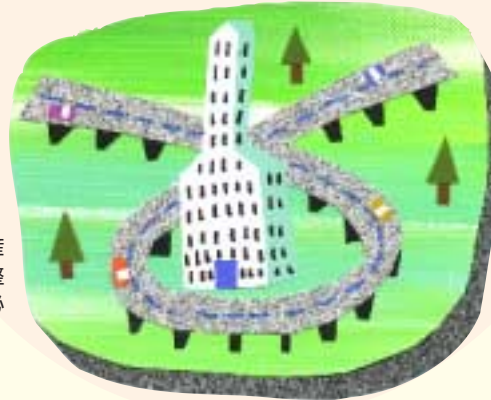
水質・土壌・大気・地形・生態系などに配慮し、環境の維持と開発のバランスを図り、人と地球にやさしい環境を創出するなど、質の高い環境を確保するまちづくりを推進します。



主要テーマ 優れた景観や自然生態系に配慮し、環境の保全・創出に努め、人と地球にやさしい環境の「流山」を創造することが必要です。

4 繁栄と魅力ある都市づくりプラン

産業の活性化・活発化を図り、開発と保全のバランスの取れた新しいまちづくりを進めるとともに、良好な住環境の整備されたまちづくりを推進します。



主要テーマ 地域経済の活発化に重要な役割を担う産業の振興と良好な居住環境に配慮した常磐新線沿線整備を進め、人が生活する「流山」を創造することが必要です。

Pilot Plan 21

Pilot Plan 21 consists of five programs designed to facilitate the implementation of measures called for by the Basic Plan—measures that address broad issues of primary concern to Nagareyama citizens in general. Each program links together all measures related to a specific administrative area for coordinated implementation so as to enhance the overall effectiveness of our development activities. The five programs are:

- (1) Community development
- (2) Regional development and strengthening based on mutual support and growth
- (3) Environmental development for beautifying the city
- (4) Urban development for the creation of a thriving and attractive city
- (5) Development of a society founded on synergy and self-reliance

A pilot is someone who directs ships into or out of a harbor or through difficult waters. Pilot Plan 21 will lead us through the waters of the 21st century, directing our efforts to build a worthy city that allows all citizens to live in true comfort. River meanders through the eastern segment.

第1の展開

整備・開発と自然環境の バランスがとれた流山

都市基盤の整備

生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理

自然と生態系に配慮しながら、「緑の風」につつまれるふるさと・流山」をテーマに、公園・緑地・水辺空間等の整備を行い、人と自然が共存できる都市づくりを進めていきます。

環境保全への市民意識も高まっており、行政と市民のパートナーシップによる水と緑のネットワークづくりを進め、潤いのあるまちづくりの進展を図っていきます。



良好な環境の住宅街

常磐新線の早期開業や沿線整備の推進により、流山市の核となる中心市街地の形づくりと合わせ、いままでの市街地との様々な結びつきを図り、災害に強い「安全」「健康」「快適」な都市環境の創出を目指します。

土地利用・生活環境に 配慮した道路整備

道路は、人々が安全で快適な都市生活や機能的な都市活動を営む上で重要な基盤施設です。

そこで、幹線道路をはじめとして、補助幹線道路や生活道路などが効果的に結び付き、市内の円滑な道路交通を実現できるように、都市計画道路を含めた体系的な道路ネットワークの整備を進めます。整備にあたっては、バリアフリーや景観にも配慮した、人にやさしい道づくりに努めます。

地域特性に合った良好な 市街地整備

本市域は、既存の鉄道路線に沿って市街地が形成されてきましたが、一部では都市化の急速な進展により、計画的なまちづくりがなされなかった地域もあります。

合理的な土地利用を図るため、公的機関や民間活力の導入により、地域に適応した市街地整備を進めるほか、常磐新線沿線地域や常磐自動車道流山インターチェンジのある新川耕地地区の持つポテンシャルを生かした土地利用を進め、それぞれの地域特性に合った整備を目指します。



安全性と快適性を兼ね備 えた河川・排水路整備

治水・利水機能の確保および環境整備を基本に、雨水等の貯留や浸透施設の整備を進めます。

河川改修等の事業では、生態系にも配慮しつつ、親水性のある緑と水辺環境の創出を図りながら、安全性の高い潤いのある地域づくりを目指します。

市内循環バス



個性ある公共空間・ 歴史環境の形成と保全

良好な都市景観が形成され、市民が潤いと愛着、誇りを感じることのできるまちづくりが求められています。

こうしたことから、地域に受け継がれてきた歴史的環境を保全活用していき、流山らしい個性と潤いのあるまちづくりに向け、人にやさしい都市デザインと緑の空間、さらに新しい風景づくりに配慮した都市景観の創出を図っていきます。

快適な生活環境を目指した 下水道整備の推進

生活環境や衛生面の向上を図り、河川等の水質を保全していくためには、公共下水道の整備が不可欠です。

本市域でも中長期的展望に立ち、流域関連公共下水道計画に基づき事業を推進します。また、下水道に関する普及啓発活動に努めていきます。

水需要に応じた水道事業 の展開

生活や産業など暮らしに欠かすことのできない水については、将来にわたって安定供給を続けていくためにも、水源の確保と施設の整備が必要です。

本市では、流山市水道事業基本計画のもとに配水池の増設や施設の更新等を行っているほか、直下型地震にも対応できるライフラインとして耐震型の配水管の整備や浄水場間のバックアップ体制についても整備を進めています。

利便性と快適性を重視した 公共交通機関の整備充実

常磐新線を骨格として各交通機関が有機的に連携する路線網の整備を促進するとともに、運転本数の増加やバリアフリーの駅舎の改良等を鉄道事業者に要望していきます。

バス路線についても、市民に便利な路線確保のため、道路の整備や路線の再編成を検討していくとともに、地域交通の補助や市民生活の確保を図る目的から、市内公共施設間循環バスの運行を推進します。

*の用語は24ページに解説があります

Nagareyama—a place with a balanced mix of nature and urban amenities

A new urban center will be created along with the development of areas along the New Joban Line that is to commence services in the near future. Efforts will be made to link the new urban center with existing urbanized areas in various ways. Our goal is to create a safe, healthy, comfortable and disaster-resistant urban environment.

The plan calls for the improvement of the city infrastructure primarily through the following eight measures:

- 1- Development and management of parks, green spaces and riverside areas, with full attention given to ecological factors
- 2- Infrastructure improvements that make the most of each district's characteristics
- 3- Creation of public spaces and preservation and enhancement of historical sites
- 4- Improvement of the municipal sewerage system for a better living environment
- 5- Improvement of roads, with full attention given to land use and the living environment
- 6- Improvement of rivers and drainage channels to ensure safety and comfort
- 7- Management of municipal water supply in line with water demand
- 8- Improvement and expansion of public transportation systems, with emphasis on convenience and comfort



野々下親水公園

2 施策の展開

生活の豊かさを 実感できる流山

生活環境の整備

豊かで美しい生活環境の創造

良好な生活環境を実現していくためにも、市民、事業者、行政の責務を明確にした条例の制定、環境学習や意識の啓発、公害や水質汚染の監視体制強化などを進め、環境悪化を未然に防ぐとともに、自らが美しい生活環境をつくり出すまちづくりを目指します。

環境共生社会を目指す 廃棄物循環型都市づくり

限りある資源を有効に活用し、廃棄物循環型社会の構築に努めます。
*リサイクル可能なごみはできる限りリサイクルし、焼却処理するしかないごみだけを焼却するという基本的な考えに基づき、リサイクルセンターと新ごみ焼却施設の建設を行うとともに、リサイクル意識の啓発、環境教育の推進などにより、廃棄物ゼロ社会の構築を目指します。



市民によるリサイクル活動

自然災害・都市災害への 備えと予防

いざというとき被害を最小限のものにするためには、各種の災害に対応した地域防災計画のもとに、事前の予防対策と発生時の対応準備が重要です。
そのため、防災施設や資材の確保をはじめ、消防組織や施設の整備、救急体制の強化を図るとともに、安全意識の普及に努め、日頃から災害に備えたまちづくりを進めていきます。

日常生活での安全性と 快適性の確保

道路交通の発展に伴い、交通事故の発生も増加する傾向にあるため、安全な道路施設の整備を関係機関に働きかけるとともに、お年寄りや子どもたちに対する交通安全意識の普及に努め、事故の未然防止を図ります。

また、社会情勢の複雑化によって犯罪の内容も多様化しているため、警察との連携を強化しながら、地域社会全体で防犯体制をつくり上げ、安全なまちづくりを目指していきます。

賢い消費者の育成

商品やサービスの多様化、情報の増加や新しい販売方法の広まりなどにより、消費生活は格段に便利になりましたが、悪質な販売や詐欺行為による被害も発生しています。

こうした被害を受けることなく、品質や安全性、サービスや契約内容の正確な情報と知識を習得できるように消費者活動を支援、育成していきます。また、消費生活苦情相談員、消費生活モニター制度の充実等により、被害の防止対策に努めます。

市民の主体的連帯活動に 支えられたコミュニティ の推進

都市化の進展やライフスタイル、価値観の多様化などにより、これまで地域にあった連帯意識が希薄になる傾向にあります。しかし、*コミュニティづくりは一人ひとりの自発的努力やその連帯と協調が大切であるため、心の通う自立型の地域社会づくりを目指し、積極的な参加意識と連帯感の醸成に努めます。

*用語は24ページに解説があります

市内に残された自然環境を守り、より自然の恵みを実感できる快適な環境を整備しながら、廃棄物ゼロ社会を目指します。
また、防災対策や消防体制を充実させて、交通安全、防犯、消費者対策を推進し、より良い生活環境の整備を目指します。



市民まつり

Nagareyama—a place where people can live in comfort

Our goal is to preserve the city's natural environment and provide more opportunities for citizens to enjoy the blessings of nature. Efforts will also be made to realize a "zero waste" society while implementing measures to improve disaster preparedness, fire control, traffic safety, crime prevention and consumer protection and education in order to create a better living environment.

The plan calls for the improvement of residents' living environment primarily through the following six measures:

- 1- Creation of a rich and beautiful living environment
- 2- Full recycling of waste for an environment-friendly city
- 3- Disaster prevention and preparedness
- 4- Ensuring the safety and comfort of citizens as they go about their daily activities
- 5- Consumer education
- 6- Promotion of community spirit through citizen-led activities



総合防災訓練

3 学び、受け継がれ、 発展する流山

教育・文化の充実向上

いつでも、どこでも、誰もが ができる生涯学習の推進

市民の多彩な学習ニーズに応えていくため、ライフステージに合わせて、いつでも・どこでも・誰もが学習できる機会や情報を提供していく環境づくりを進めています。

こうした学習活動の拡充を図るために、専門知識や技術を持った指導者の発掘や育成を図ります。

個性を生かす教育環境の 基盤充実

家庭や地域社会と連携を図りながら、一人ひとりの良さや可能性を伸ばし個性を生かす教育の充実を図ります。

また、多様な教育や地域性を考えた施設整備に努めます。

ながれやま市民文化の 継承と醸成

ライフスタイルの変化や生活に余裕が生まれてきたことで、文化・芸術活動に参加する人も多くなり、こうした市民の活動を支援し、発表や活動の場を広げていきながら、情報の提供にも努めています。

また、地域に残る文化財や伝統芸能の保存や活用を図るとともに、地域活動や文化活動を通して、特色ある地域文化の振興を目指していきます。



流山ロードレース大会

すべての人がライフステージに応じて、
自分にあったやり方・内容で
生涯にわたる教育・文化活動を行える環境をつくります。
また自然や文化に親しんだり、
趣味、スポーツ、レクリエーションなどを楽しみながら、
新しい知識や技術を学んで
生活の中に生かすことのできる教育環境を整備します。



学校開放によるパソコン講座

次代を担う青少年を育てる 地域環境づくり

現在の地域社会では、人間関係や連帯感が希薄化していく傾向があり、次代を担う青少年を健全に育成していくためにも、潤いと余裕のある地域教育が求められています。

このため、青少年を非行から守るとともに、幅広い世代との交流や活躍できる機会を設けていくなど、地域社会全体で健全な青少年を育てていける環境づくりを進めています。

スポーツ活動の基盤づくり

スポーツやレクリエーション活動に対する関心が高まっており、参加する市民も増えていきます。

こうした活動は、健康づくりやコミュニティ形成の観点からも発展が望まれており、施設の整備をはじめ、市民がスポーツ、レクリエーションに参加できる機会を提供し、生涯スポーツを推進します。

国際社会への対応

多彩な文化交流活動を展開するとともに、青少年等の海外研修派遣や国際理解教育を充実させます。

また、市内に在住する外国人が安心して暮らせるよう相談体制の整備や情報提供を行っています。

*の用語は24ページに解説があります

Nagareyama—a place for learning, teaching and growing

Our goal is to create an environment where all people can participate in educational and cultural activities throughout their lives in the manner they like. In particular, we will provide greater opportunities for gaining useful knowledge and skills while enjoying sports, recreation or other pleasurable pursuits.

The plan calls for the promotion of educational and cultural activities primarily through the following six measures:

- 1- Promotion of lifetime education for providing learning opportunities to anyone, anytime, anywhere
- 2- Development of facilities, programs and systems for creating an educational environment that encourages individuality
- 3- Development of an environment for nurturing the young at the community level
- 4- Fostering and transmitting local traditions and culture
- 5- Development of facilities and programs for encouraging athletic activities
- 6- Responding to and dealing with international issues and initiatives



市役所ロビーでのサロンコンサート

4 施策の展開

誰もが充実した生涯をおくることのできる流山

市民福祉の充実



子育て支援センター「ゆうゆう」

安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり

社会情勢や家庭、地域社会を取り巻く情勢に配慮して、安心して子どもを生み育てていける環境づくりを行うとともに、次代を担う児童の健全な育成を支援します。

こうした環境づくりを支えるため、流山市児童育成計画を策定し、地域社会全体で子育てを支援していく体制づくりを進めていきます。

高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり

お年寄りや障害のある方が、地域社会の中で生きがいと充実感を持って、安心して暮らすことのできる社会の実現に努めていきます。

また、地域社会に参加し、自立できる環境づくりを図りながら、介護が必要になったときに対応する福祉サービスや施設の充実を図ります。



デイサービスセンター

バリアフリーのまちづくり

お年寄りや障害のある方にも配慮した、人によさしいまちづくりが求められており、道路や交通機関、公共施設等のバリアフリー化を官民共同で推進していきます。

また、高齢者や障害者が、いつでも、どこへでも行き、主体的に社会参加するために必要な情報の提供や、犯罪・災害等の緊急時の体制整備にも努めていきます。

誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり

子育てや保育ニーズをはじめ、高齢者や障害者などが緊急時でも安心して暮らせる社会サービス体制を構築します。

また、こうしたサービスが、いつ・どこで・どのような内容であるかなどの情報提供の体制を確立するとともに、各種相談等に対応する総合相談窓口の開設に努めます。

★の用語は24ページに解説があります

誰もが安心して暮らすことのできる生活支援づくり

低所得者への生活保護制度や相談体制の拡充に努め、今後も、国や県に社会保障制度の充実を要請していきます。また、ひとり親世帯についても、民生委員や母子福祉推進員による相談・支援体制の充実、扶助制度の整備などを進めます。

公営住宅についてもバリアフリー化など時代に即した整備を行います。

健康で明るい暮らしづくり

すべての市民が健康で明るい暮らしを実感できるように、保健、医療、福祉が一体化したサービスを展開できる体制づくりを進めています。

また、各種の健康診断や健康指導による早期治療や健康づくりを支援するとともに、市民から要望のある公的総合病院や高度医療施設の誘致、在宅ケアシステム等の拡充を図ります。



3か月児健康診査

地域で支える福祉のまちづくり

地域福祉に対するニーズは、今後ますます増加し、多様化する傾向にあります。

そのため、ノーマライゼーションの理念のもとに、相互福祉の推進をはじめ、福祉意識の啓発や教育活動を進めるとともに、ボランティア組織や社会福祉協議会等の活動を支援していきます。

Nagareyama—a place that offers security to all

Our goal is to create a society where all residents can lead healthy, secure and happy lives regardless of the need for assistance or nursing due to age or disability. Efforts will be made to improve the city's health and welfare services so as to respond to the diverse needs of our citizens.

The plan calls for the improvement of citizen's health and welfare primarily through the following seven measures:

- 1- Ensuring the safe and healthy birth and growth of children
- 2- Development of a society that allows senior citizens and disabled persons to live actively
- 3- Improvement of support systems to ensure that everyone can live in security
- 4- Promotion of healthy and cheerful living
- 5- Promotion of community-level social welfare activities
- 6- Creation of a barrier-free society
- 7- Development of reliable social-service systems available to all

誰もが、障害や高齢等により要援護・要介護になっても、地域で健康で明るく安心して暮らせるように、バリアフリーのまちづくりを推進します。また市民と行政との協力によって、多様なニーズに対応できる保健医療福祉のサービスの充実向上に努めます。

賑わいと活気に満ちた流山

産業の振興



買い物客でにぎわう商店街

商業の拠点づくりと 地域密着型サービスの強化

既存商店街を地域の特徴を生かした魅力ある商店街とするため、商工会の育成・拡充に努め、経営者の意識改革や近代化を支援していきます。

また、既存商業地と常磐新線の開通に伴う新たな商業核を含めた商業地間の情報ネットワークを構築します。

誰もが安心して働ける 環境・基盤づくり

高齢者や障害者を含めた労働者の雇用の場の拡大を図るため、職業相談や指導などを行います。

また、勤労者の福利厚生の実現を図るとともに、勤労者のための講演会や労働教育講座等を開催します。さらに、女性労働者の安定した職場環境の醸成に努めます。

多様な方面からの 農業の振興

本市の農業は、首都圏という有利な立地条件にありながら、急速な都市化による農地の減少、後継者不足など、多くの問題を抱えています。

明日の農業の担い手である後継者や新規就業者への指導・育成等を積極的に行います。また、都市住民とのふれあい農業の推進を図りながら、有利な立地条件を生かし、付加価値の高い農作物を栽培する都市型農業の確立を目指します。

新たに創出される新市街地駅周辺への商業・業務機能の形成に努めるとともに、地場産業の生産性の向上と
集団等による生産環境の整備改善を図る一方、農業生産基盤の整備を促進し、
高生産高収益の都市型農業を推進します。



花き(バラ)の栽培

特色ある観光の育成と創設

観光やレジャーに対する関心が高まっている現在、恵まれた自然環境や歴史的文化遺産を活用した観光振興を図ります。

また、地場産業や農業と連携を図り、「みりん」を中心としたふるさと産品の育成・普及に努めます。「利根運河」を観光資源として活用する方策を研究することともに、広域観光ルートの整備を行い、新たな観光需要の創出に努めます。

*の用語は24ページに解説があります

工業の強化と新たな産業の 創造

技術革新や生産体制の効率化など、産業界の進展に対応し、先進性を持った工業の振興が求められています。

そのため、効率的な生産基盤を確立していくための工業団地の整備をはじめ、中小企業の経営助成、生産技術や情報の提供等の支援を進めていきます。

また、東葛テクノプラザや地域の大学・研究機関との連携、異業種交流などの展開により、新たな産業の育成に努めます。



市内で操業する工場

Nagareyama—a place full of vitality and prosperity

Measures will be effected to develop commercial and business functions in urbanized areas that will be created near the New Joban Line station. Efforts will also be made to improve the productivity and manufacturing environment of local industries while promoting the improvement of farming systems for the realization of a high-yield, high-earnings city-oriented agricultural industry.

The plan calls for the promotion of local industries primarily through the following five measures:

- 1- Creation of commercial centers and expansion of services aligned to local needs
- 2- Strengthening of manufacturing industries and development of new industries
- 3- Development of facilities, programs and systems for ensuring a safe working environment
- 4- Promotion of agriculture through a variety of approaches
- 5- Promotion of tourism and development of unique tourist attractions

施策の 推進方策

公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政財政運営

行政の充実



市役所窓口

市民参加の地域社会づくり

行政を効率的・効果的に進めるためには、地域の主人公である市民のニーズを的確に把握し、市民の意見・提言を生かした行政施策を展開しなければなりません。市民の意志を行政に反映させていくため、さまざまな情報を市民と行政が共有できるように、ニューメディア等も活用しながら、積極的な情報公開に努めていきます。また、広報・広聴活動の充実を図るとともに、NPOを含めた市民組織との連携を進め、市民参加による地域社会づくりを展開していきます。

健全で効率的な行政財政運営

社会情勢の変化や市民ニーズの多様化により、行政が取り組む課題も増加しており、その内容も高度・複雑化しています。こうした現状の中、より効率的で効果的な施策を実施できるように、計画から事業・予算・効果などを総合的に評価して、費用対効果が認識できる体制を整えるなど、広い視野から経営感覚を持った行政運営に努めていきます。



市民の皆さんと行政との互いの役割を理解して、自主的なまちづくりへの参加を促進していきます。また、健全な行政財政運営のための事務事業の簡素化、効率化、適正化を推進します。

地方分権・広域行政への取組

地方分権により、自治体への権限委譲と自己決定権が拡大し、これまで以上に政策法務機能が求められることから、職員の政策形成能力の向上と市民に対する説明責任の明確化を図ります。また、一部の事業を近隣の自治体と共同で行うことにより、経費軽減と効率化を進めていくため、関連市町との間で構成する連絡協議会や開発協議会との連携や協体制の強化を図ります。

男女共同参画社会づくり

男女共同意識による地域社会の構築は、まちづくりの基本となるものです。本市では、平成10年に策定した流山市男女共同参画社会づくりビジョン「パートナーシップなぐれやま」を受け、今後も男女平等意識をより定着させ、従来の固定的な慣習を解消していくため、家庭や地域、職場など、あらゆる機会において、男女共同参画を高める環境づくりを進めます。

*の用語は24ページに解説があります



行政懇談会

Partnership between government and citizens and efficient administration

Citizen participation in development activity will be promoted based on an understanding of the respective roles of the government and individual citizens. Efforts will also be made to streamline paperwork, improve efficiency and ensure appropriate procedures to ensure sound management of the city.

The plan calls for the improvement of city administration primarily through the following four measures:

- 1- Promotion of community activities through citizen participation
- 2- Ensuring healthy finance and efficient administration
- 3- Involvement in decentralization and multi-city administration initiatives
- 4- Creation of a society based on equal participation by men and women

地域別計画

地域別計画は、市民主体のまちづくりを推進し、今後よりきめ細かなまちづくりを進めていくために、市民生活にとって身近な地域ごとに、地域別の現状や課題を踏まえて策定するものです。策定にあたり、市民の参加による地域別ワークショップでの検討内容が、構想策定への提言として活かされています。

*の用語は24ページに解説があります



タウンウォッチングのようす



北部地域 人と自然に優しい 心豊かに暮らせるまち

ゆとりある田園居住の継続と創出

現状と課題 本市域においても豊かな自然環境が多く残され、都市生活と田園生活の双方を享受できる地域です。これらの恵まれた環境を生かし、ゆとりある多様な市民生活を展開していくことが期待できます。しかし、新川耕地の休耕田の有効活用、^{*}バリアフリーや防災対策に配慮し、地域に開かれた特徴ある諸施設の整備が課題となっている地域です。

基本的方向 人と自然の共存を基調とし、緑に囲まれ、楽しく交流でき、心豊かな暮らしが実現され、しかも災害や犯罪への的確な対応が図られ、高齢者等に優しい地域を形成します。

現状と課題 常磐新線の整備に伴い、新市街地地区は本市の中心部として、商業業務・文化機能の集積が期待されている地域です。既存駅周辺の地域核と新市街地地区とのネットワークや、常磐自動車道流山インターチェンジを活用しての産業振興を図ることで、調和のとれた発展が期待できます。しかし、現存する農地の有効活用や住工混在市街地の改善、文化遺産の保全等が課題となっている地域です。

基本的方向 子どもから高齢者まですべての居住者にとって利用しやすく、かつ安心して暮らし続けられる地域とします。また、本市の中心部として活力あるまちづくりに大きく寄与する地域です。

中部地域 空が広く見えるまち

活力ある都市の拡充

東部地域 後世にまで 伝えることのできる 美しいふるさとのまち

市街地と自然生態系の共存

現状と課題 既存鉄道駅周辺を中心にマンション等が活発に建設され、急速に市街化が進展している地域です。一方で自然環境が豊富であり、都市機能と自然環境の調和したまちづくりをすることが可能な地域です。しかし、常磐新線沿線整備が進むなかで、生活関連施設の整備や農用地利用の新しいあり方、新旧を融合していく地域コミュニティの創造、そして、文化遺産の保全・継承等が課題となっている地域です。

基本的方向 医療施設・商業施設がバランスよく配置・整備され、豊かな自然に囲まれながら、地域社会の一員として誇りと生きがいをもって活動できるまちづくりをします。また、開発整備にあっては周辺環境に配慮しながら最小限にとどめ、自然や環境の保全や乱開発を未然に防ぐなどして、美しいふるさとを後世に伝えます。

南部地域 安心して暮らせる 生活環境の確保されたまち

都市機能の再編と歴史性の尊重

現状と課題 人口の増加傾向が続き、市街地環境の変化も著しい地域です。また、江戸川の水運で栄えた流山の面影を持ち、歴史を感じさせる地域です。そこで、歴史的資源や生活環境と新たな開発・整備とを連携させることにより、個性豊かな市街地を形成する可能性が期待できる地域です。しかし、今後、常磐新線沿線整備が進むなかで南流山駅周辺整備、地域内の円滑な交通処理方策や各種歴史資源の活用などが課題となっている地域です。

基本的方向 この地域の個性を生かした整備や開発を進め、歴史環境を実感できる、個性豊かな地域とします。さらに生活環境の改善を進めながら、安心して、そして誇りをもって暮らせる地域とします。

District development plans

District development plans have been prepared to promote citizen-led activity and ensure measures adapted to the specific needs of each locality. The plans take into account the current conditions and specific issues of individual districts, determined through discussion workshops attended by local residents. Issues discussed at the workshops were taken into consideration in the formulation of the Master Scheme.

Based on the workshops, each district has determined its future vision as follows:

Northern District---A people- and environment-friendly town where people can live in comfort

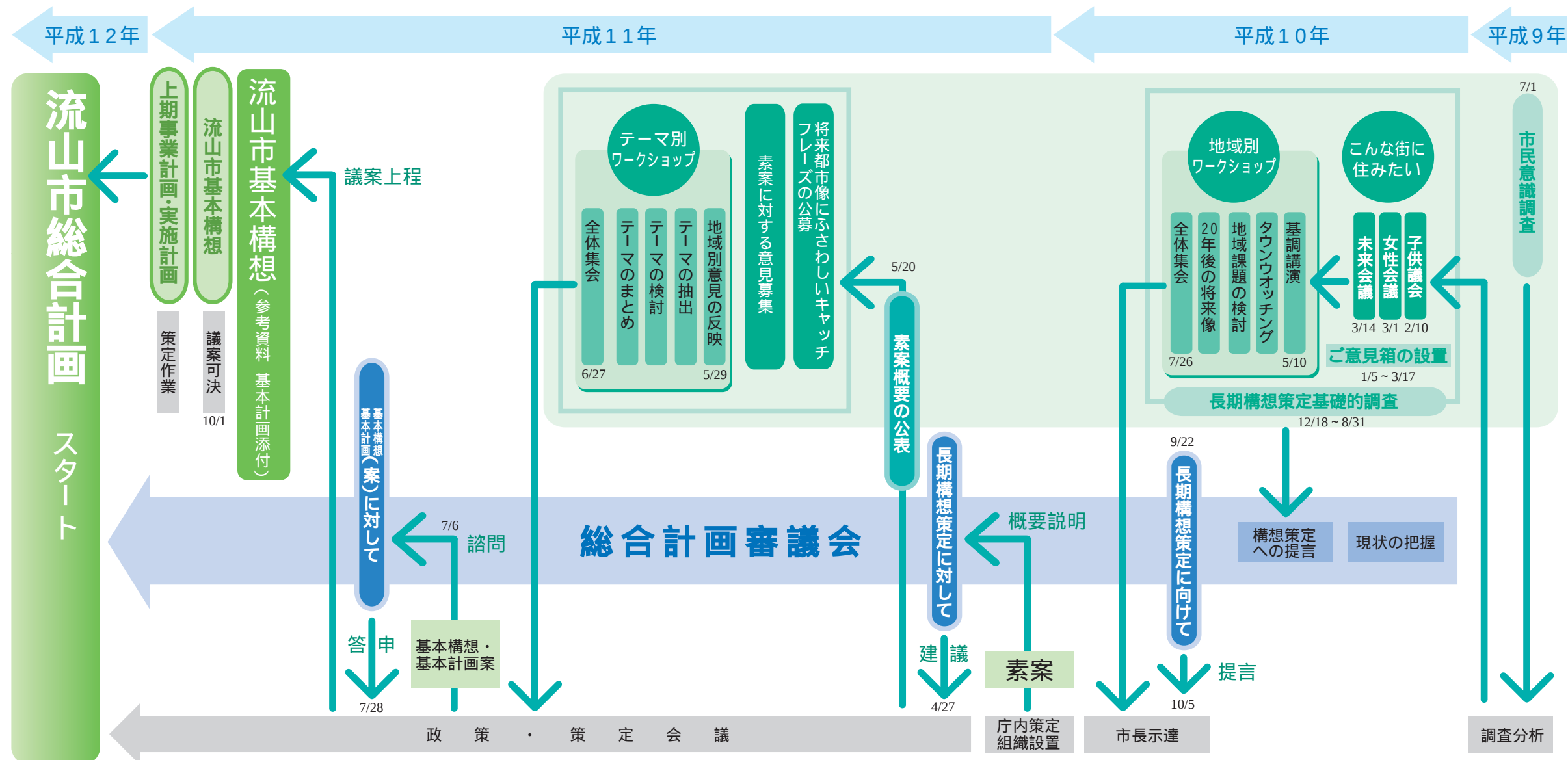
Central District---A town of open skies

Eastern District---A beautiful hometown to be preserved for posterity

Southern District---A town with a safe and secure living environment

資料

総合計画の策定経過



子供議会

子供議会・女性会議・未来会議

市民参加のもとに総合計画の策定を行うことを目的に、市内の小中学生による「子供議会」や「女性会議」、未来を担う新成人を対象にした「未来会議」を開催し、幅広い意見や発想の収集を行いました。こうして集められた多くの意見と要望は、審議会において幅広い視野からの検討材料になり、市民参加型の計画づくりに反映されています。

地域別ワークショップ

本市域を北部地域・中部地域・東部地域・南部地域の4つのブロックに分けて、それぞれの地域の持つ特性や現状を踏まえて、各地域の市民と将来のまちづくりの方向性を検討しました。この地域別ワークショップで検討された内容は、総合計画の地域別計画に盛り込まれ、各地域ごとの基本目標も設定されました。



女性会議

素案に対する意見募集

平成11年5月発行の「広報ながれやま」では、21世紀のまちづくりを特集し、基本構想・基本計画の策定経過とともに計画の素案を紹介しました。この特集号では、素案に対する意見や提案を呼びかけ、添付された専用ハガキや封書、FAXなどにより、多くの市民の声が寄せられました。

キャッチフレーズの公募

基本構想策定の段階で、本市の将来都市像を「豊かな自然や歴史・文化を活かし、市民が真の豊かさを実感できるまち」と定め、この将来都市像にふさわしい都市イメージのキャッチフレーズを市民から募集しました。こうして集まった多くの応募をもとに、さまざまな視点から検討を行い、「みんなでつくる価値ある流山」をキャッチフレーズとして決定しました。

テーマ別ワークショップ

計画の中における一部の分野については、より慎重な審議を行うために、部会を設置してのテーマ別ワークショップを開催しました。部会は、市民参加部会、全体部会をはじめ、常磐新緑部会、環境部会、福祉・医療部会、教育・文化部会の6つが設けられ、各分野の学識者や経験者の専門知識を活かした審議が行われました。

★の用語は24ページに解説があります



テーマ別ワークショップ

資料

用語の解説

あ

異業種交流 業種が異なる企業が相互啓発を図りながら、技術の向上、新製品の開発等の情報交換、技術交流を行うこと

NPO ボランティアを含む組織構成員が利潤追求を目的とすることなく社会に対するサービスを提供する組織

か

国際理解教育 国際化時代を生きる児童・生徒の視野を広め、異国の文化や言葉を理解し、偏見なく共に生きる資質・能力の向上を図るための教育をいう

コミュニティ 地域共同体、地域社会

さ

在宅ケア 自宅で生活する高齢者、障害者等の相談・支援

生涯学習 誰もが生涯のいつでも、それぞれの目的に応じて、自由に学習機会を選択して学ぶこと

政策法務機能 地方分権の推進により、これまで以上に政策形成や条例等の法制執務機能の充実が求

められていること

説明責任 アカウンタビリティ、行政が市民に対して事柄を説明する義務

た

地域防災計画 災害対策基本法に基づき、流山市防災会議が昭和50年4月1日に策定、平成11年に全面修正されている

地域間ネットワーク 地域と地域を網の目のように結ぶこと

地方分権 地方自治体の運営で行政・財政上の自治や自立性が大幅に認められる仕組み

東葛テクノプラザ 県内中小企業が研究開発型企業に転換するため、先導的産業支援施設

都市型農業 消費地に近く、付加価値の高い農作物を栽培する農業

な

都市デザイン 都市の設計、計画

流山市水道事業基本計画 平成11年3月策定

ニューメディア 新しい情報伝達媒体

ネットワーク 各施設を通信網で結ぶこと。通信網などにより網の目のように結ぶこと

ノーマライゼーション 障害のある人や高齢者が家庭や地域で通常の生活ができるようにする社会づくり

は

パートナーシップ 提携、協力関係、連合

廃棄物循環型社会 廃棄物処理を「焼却して埋める」ことから、廃棄物のリサイクルを推進し、環境への負荷を少なくした社会

廃棄物ゼロ社会 廃棄物の発生制御や完全にリサイクルして、ごみとして排出しない社会

バックアップ 後援すること、主装置の故障や事故発生時に、その代替機となる補助装置

バリアフリー 障害者や高齢者が生活や行動するうえで、妨げとなる障壁（バリア）をなくして、安心して暮らせる環境をつくること

ポテンシャル 潜在する能力。その機能のもつ可能性、将来性

ボランティア 自分の自発的な意

志によって奉仕活動を行う人

ま

水と緑のネットワーク 水と緑を使って網の目のように結び、まちの景観を創出すること

モニター 新製品などの製品の性能、機能を報告する人

ら

ライフスタイル 生活様式、個人の特性に合った生き方

ライフステージ 人の一生を幼年期・少年期、青年期、壮年期、老年期などに分けたそれぞれの段階

ライフライン 電気、ガス、水道、交通機関などの都市の機能を保つ生命線

リサイクル 不用品や廃棄物を再利用すること

流域関連公共下水道計画 流域下水道と一体となり、地方公共団体が進める下水道計画

わ

ワークショップ 共同作業を伴う研究会や学習会等の活動のこと